

NTカチオンファイラー

【改訂第7版】

セメント/ポリマー複合型陽イオン性接着剤

理想のセメントファイラー、ハイレベルの接着力と耐久性を実現。

セメントファイラーに求められる「接着力」と「耐久性」を一段とレベルアップしました。これまで数多くの施工実績をもつ「NTカチオンタイトF」、それを発展させた「NTカチオンファイラー」。セメント/ポリマー複合型の陽イオン性接着剤として理想的な品質、性能を有しています。

NTカチオンファイラーはセメント、無機ファイラー、分散剤、その他を配合した「主材パウダー」と硬化液「カチオン性アクリルエマルジョン」をセット。幅広い用途に優れた性能を長期間発揮します。

特長

● 抜群の接着力で下地と一体化。

粘度が高く広範囲の下地に対応し、「NTカチオンタイトF」と同レベルの接着力を発揮。とくにコンクリート、モルタルなどのセメント系下地の場合はカチオン性アクリルエマルジョン作用により、強固に接着して下地と一体化します。

● 優れた耐久性を長期間発揮。

高級アクリル系の接着剤のため、耐候性、耐水性、耐アルカリ性に優れ、さまざまな条件下で長期の耐久性を発揮します。

● 小さな収縮でひび割れを防止。

ひび割れがなく、肉やせも最小限に抑制します。

用途

- 打ち出しコンクリート、PCパネル、モルタル、ブロックなどの目つぶしと総地付。
- 段違い、目違い、ピンホール、ジャンカ、クラックなどの下地調整。
- ALC板や気泡コンクリート面の目つぶし充填や吸い込み止め。
- 改修時の下地補修。

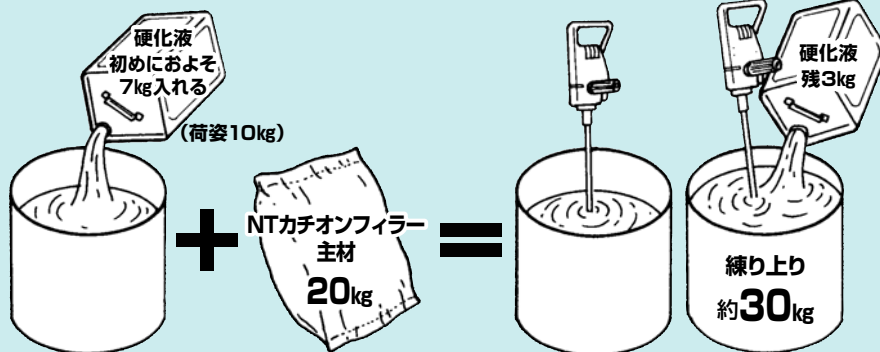
※脆弱下地の場合は「NT浸透シーラー」で脆弱層に強化処理を行なった後で、NTカチオンファイラーによる下地調整を行なってください。

使用上のポイント

- ① 練り混ぜ容器に、まず硬化液をおよそ70%入れ、主材パウダーを徐々に加えてペースト状に練り上げます。その後、残りの硬化液を添加し、施工に適した粘度に調整します。
- ② 一度に混ぜ合わせる量は2時間以内に使い切る量としてください。
- ③ 普通は以後の粘度調整をすることなく、使い切ることができます。

※温度の高いとき、練り置き時間が長い場合は途中で多少粘度が上がることがありますが、その際は練り混ぜ時に使い残した硬化液を添加し、粘度を調整してください。

※それでも粘度調整が必要な場合は、少量の水で調整してください。



施工上のポイント

- ① 施工は吹付、刷毛塗り、またはスポンジゴテしごきで行なってください。
- ② コンクリートの巣穴面、ALC板面、ブロック面などへの充填処理には軟らかめの材料を使用してください。とくに吹付施工の場合には吹付直後に刷毛、またはスポンジゴテで下地によく擦り込むようにしてください。
- ③ 段違い、ジャンカ、クラックなどの比較的大きな埋め戻しの場合は、硬めの材料を使用してください。
- ④ 大きな段違い、埋め戻し、または陶磁器タイルなどの深い目地埋めなど、極端に厚付けを必要とする下地調整の場合は、NTカチオンタイトFでコテ塗り処理をしてください。
- ⑤ 吸水のある下地（コンクリート、モルタル、ALCなど）は、NT吸水調整剤の塗布、または、水打ちを行なってください。

■施工上の注意

- ①可使時間(2時間)が過ぎた材料を無理に練り戻して施工することは避けてください。硬化不良の原因となります。
- ②凍結の恐れがあるときは施工を避けてください。
- ③主材パウダーは水硬化性ですから、保管には十分に注意し、地面に長い間放置したり、雨に当てたりすることは避けてください。また、長期にわたる在庫も避けてください。
- ④硬化液は冬季に凍結しないように、十分に注意して保管してください。

■荷姿

- NTカチオンフィラー主材 20kg 紙袋入り
 - NTカチオンフィラー硬化液 10kg 石油缶入り
- 30kgセット
- ※標準施工面積 15㎡/セット(2.0kg/㎡)

「NTカチオンフィラー」取り扱い上の注意事項

(よく読んでご使用ください)

- 施工中、乾燥中とともに換気を充分に行ない、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください(偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります)。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行なってください。
- 目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをして、凍結を避け、直射日光の当たらない場所を定めて保管してください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は環境を配慮した材料を用いていますが、ご採用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

NT吸水調整剤

特長

- ①コンクリートやモルタルなど、吸水の多い下地に塗布することで接着力を安定させ、ピンホール抑制に効果があります。
- ②耐水性、耐アルカリ性に優れ、安定した付着力が長期間持続します。
- ③水性タイプのため、安全に作業ができます。

適応下地

- コンクリート、モルタル、ALC、コンクリートブロックなど

製品荷姿

- NT吸水調整剤……………18kg 石油缶入り

標準仕様

工程	材料の調合 (重量比)	塗り回数	施工方法	使用量 (kg/㎡/回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
素地調整	●下地の脆弱部、レイタンス、エフロ、油分、汚れなどは、事前に適切な方法で取り除いてください。					
吸水調整	●NT吸水調整剤……………18kg ●清水……………72kg	1~2回	●ローラー ●自在刷毛 ●スプレー	0.2	450㎡/缶	1時間以上
不陸調整	●各種セメント系下地調整材					

※下地の状態により吸い込みが激しい場合は、吸水調整が2回になる場合があります。

※製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子5-16-7	☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323
平塚営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739
名古屋営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124
大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-28-10	☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560
広島営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256
福岡営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <http://www.nttoryo.co.jp/>

■代理店